

とごまかす否定されてきました。

私はこの新年度予算案をつくるために職員のみならずが非常に努力されてきたと思います。また、町長の執行方針の中での財政が厳しくなった背景を否定するものではありません。「急速な人口減少と少子高齢化の進行、長引く物価高騰や社会保障関係費の増加」など同じ見方をしています。

だからこそ、無理な大型の箱ものを建設するときにこそ町民の意見を聞くとか、事前に議会と議論するなどするべきだったと思います。

4月はとりあえず必要不可欠な最低限の暫定的な予算にして、6月までの間に町民のみならずと話し合いを持ち、方向を定めていくということを提案して反対討論とします。

第1回臨時会

(1月29日)

報告第1号

専決処分した事件の承認について

令和7年度一般会計補正予算(第5号)の専決処分であり、衆議院議員総選挙に要する経費の補正で歳入歳出、1582万3千円を追加するものです。

議案第1号

公益的法人等への標茶町職員の派遣等に関する条例の制定について

社会福祉法人標茶町社会福祉協議会から職員の派遣要請があり、それに応えるため「公益的法人等への一般職の地方公務員の派遣等に関する法律」で規定される所事項を定め新たな条例を制定するものです。

新規条例のため総務経済委員会に審査を付託しました。

陳情第1号

磯分内プールの存続を求める陳情

磯分内連合振興会より陳情が提出され、厚生文教委員会に審査を付託しました。

第2回臨時会

(3月23日)

議案第27号

令和8年度標茶町一般会計予算

第1回定例会で提案し、否決となった議案第19号令和8年度標茶町一般会計予算に、歳入歳出それぞれ1億400万円増額修正し総額110億2500万円とするもので全会一致で可決されました。

第2回臨時会

総括質疑

鈴木 裕美 議員

町長の福祉とは何か、考えを聞く

問 会計年度任用職員の制

度導入時に年収を下げない方針であり、待遇の改善はしないと答弁していた。パートタイムにするのは業務の見直しのためとしているが、業務の見直しに関する情報収集は「いつ」「誰が」「どのよう」に「実施した」のか。また、得た情報に基づき、誰が判断したのか。各部署ごとに行ったとすれば、支援員の件で教育委員会が副町長、総務課長と協議したのは結局、町があらかじめ見直しを決定し、事後処理を任せただけではないか。

保育園の土曜日の給食を止めることは子育て支援の施策と相反する。会計年度任用職員の一部のパート

タイム化や、高齢者事業団への補助金削減は福祉の切り捨てである。町長の福祉とは何か、福祉に対する町長の考えを聞く。

答 標茶にとって福祉は重要である

会計年度任用職員の制度としては、フルタイム、パートタイムともに毎年給料・時給を見直し、7年間まで上がっていく仕組みとなっている。

会計年度任用職員制度が導入されてから、庁舎内部委員会が配置検討委員会を置き、実態調査を踏まえて報告・上申を受け最終的に町長が判断する。標茶で生まれ安心して老後まで迎えられる政策が福祉政策と考える。

黒沼 俊幸 議員

高齢者事業団の運営補助金をカットすべきでない

問 7年度の予算には「高齢者事業団運営補助金」として、70万円が計上されており、これは老人福祉費の補助金である。

この財政難の中で、町が発注する事業が減らされるといわれている。高齢者事業団に対する70万円の補助金は削るべきでないと思うがどうか。

訪問開拓員に対する補助金である

答 もともとは道の制度でこの仕組みがあり、道の補助金が廃止されたときに多くの自治体ではこの制度、補助金がなくなった状況である。町が単独で補助する形に切り替えて持続してきた。

今回、全般的な見直しを契機にこの事業を継続すべきかどうか、考えたときに、一区切りつけようと言

うのが大きな理由である。

道東ホースタウンプロジェクト事業は廃止すべき

問 標茶町は馬の頭数が増加しつつあり、阿歴内市街地には50年前から引退場を飼育している牧場に約60頭おり、隣接する牧場には乗馬を教える調教師が本格的に優秀馬の開設され、年中にぎわっている。従業員も2名増え、馬の数も10頭になるとのことである。

道東ホースタウンプロジェクトの事業者に町有馬の餌代の他も含めて、892万6500円が計上されている。令和8年は900万円の運営費の支出を見込んで、町が観光牧場の運営をすることに反対であり、廃止すべき事業である。

今年度も継続して業務を委託していい

答 業務内容については、専門性、調整能力が必要。町職員がこの業務を担うのは難しいと判断した。令和8年度についても継続して、合同会社のホースタウンリンク、オフィスホースタウンに業務を委託していく。



町有馬のトムカント

深見 迪 議員

本町の財政危機について、直接町民に説明会を行うべきと考えるがどうか

問 本町の財政ひっ迫の状況は、今年度の当初予算案を見ても明白である。しかし、町民や事業者のほとんどはその内容について、具体的なことは何一つ知らされていない。

今回、新年度予算が否決されたのも町民の不満、不安の結果である。

町は、今日の財政危機を招いた要因と現在の状況について、詳しく丁寧な説明と併せて、町民の意見を聞くことが必要不可欠と考えるがどうか。

今選択肢の方向性を持って説明したい

答 今後の方向性がある程度決めるのではなくて、選択肢の方向性を持って説明するのが町長の立場であると思っている。



標茶町役場庁舎内2F

総務経済委員会 所管事務調査報告書

調査日時

令和7年10月21日

調査場所

都市・農村公園

調査日時

令和8年1月21日

調査場所

標茶町役場委員会室

1. 調査事項

本町の公園施設の現状と課題について

2. 調査の経過と内容

令和7年10月21日視察では、本町に設置されているすべての公園25か所について視察し、設置目的や利用状況、課題について説明を受けた。

3. 委員会の所見

本町には標茶町都市計画審議会条例があり、年1回程度は都市計画審議会が開催されていたが昨年は行われていない。都市公園、農村公園についてもこれだけの課題を抱えているのだから、早急に審議会を開催するべきである。

河川改修の時期に合わせて、早急に公園の現状を利用状況も含めて調査し、目的やニーズも含めて方向性を出すべきである。開発の工事中に合わせて工事計画を進めるべきである。

農村公園は、利用人数が少ないからと言って機械的に廃止や縮小、再編を考えるべきではない。むしろ高齢者の健康づくりの目的など考慮し、早急に地域振興会などと将来の農村公園のあり方について協議する機会を持つべきである。

各公園の役割を明確にし、目的などを含めて再編するなど取り組みを進めるべきである。新しくドッグランやドローン等の活用も考えてほしい。

人口減少、高齢化などの理由で地域振興会や町内会などが公園の維持管理をできなくなった場合、町が将来的に維持管理することも視野に入れ考えをまとめておくべきである。



厚生文教委員会 所管事務調査報告書

調査日時

令和7年10月22日

令和8年1月14日

調査場所

標茶町役場議員室

1. 調査事項

標茶町立病院の現状と課題について

2. 調査の経過

診療科目、病床数の推移、医師、看護師、職員等について現状の説明があった。

3. 委員会の所見

電子カルテシステムの導入は、効率化が期待できるのと人件費の削減が可能となるので、遅滞なく進めることを望む。

人工透析については医療衛生管理上、現在の施設内での開設は難しく、新たな施設増築等が必要となること

とから、現時点での導入には至らないと判断した。今後は患者動向を注視しつつ継続案件としたい。

町の人口に見合った医療体制がのぞましいが、地域住民のニーズに沿った診療体制にすべきである。

患者が支払う入院費や治療費は診療報酬として国が定めている。病院を経営することにあたり、人件費や医療資材が高騰しているのに、今回見直された2〜3%程度の診療報酬の引き上げでは赤字の解消につながらず、公立病院の経営はよくなる。町理事者は公立病院の実情に合った支援策を講ずるよう、国に対して意見、要望を出すべきではないか。

病院建物の老朽化に伴う雨漏りがある。早急に修理をすべきである。

標茶町財政健全化調査特別委員会 所管事務調査 中間報告

財政健全化調査特別委員会は、議長を除く11名で構成され、令和7年3月13日の設置以来令和8年3月3日までの調査期間中、計9回の特別委員会を開催し、今定例会において中間報告するに至った。

町民生活に関わる行政サービスを維持しながら、将来世代に過度な負担を残さない財政運営に転換していくことが喫緊の課題と認識し、「(1)事業評価に関すること」、「(2)行財政改革推進計画に関すること」、「(3)財政の主要課題に関すること」の3項目を調査対象とした。町が行った「事業評価」を議会として再評価することで既に策定されている行財政改革推進計画を、全町民が痛みを分かち合うに足る価値を持たせることが目的である。

調査項目

- (1) 行財政改革推進計画について
- (2) 事業評価について
- (3) 財政の主要課題について
 - ・ 標茶町立病院
 - ・ 特別養護老人ホームやすらぎ園
 - ・ 標茶町育成牧場

まとめ

- ① 本町の財政ひっ迫は、一過性のものではない。国の政策変更(二位一体の改革)後、長年に亘り対策を先送りしてきたことで累積した「構造的な課題」の側面がある。町政運営の姿勢や意思決定に関しても、10年、20年という長期的なビジョンが不明瞭なため、場当たり的な決定が目立つ。
- ② 町民が求める行政サービスと、行政が考える「優先

順位の高い施策・事業」は必ずしも一致しない。これまで町は「町民の代表である議会への説明を優先する」として、町民への説明機会を設けてこなかった。議会に対する説明も形式的で、調査や熟慮の暇もなく、追認ありきの姿勢であった。それに対して議会も財政ひっ迫の折であればなおさら内容を掘り下げる仕組みを創り、「追認機関」から脱却しなければならなかった。

③ 町は、事業を起こす際、特にそれが大型である場合は、以後の財政運営に与える影響が当然大きいので、年度負担が軽減されるよう補助金や有利な起債などを財源対策とセットで進めてきたと説明しており、町の財政運営が自転車操業であったことを認めている。そして、この循環が、近年の物価や人件費の高騰、また人手不足による直営から委託への切り替えなどによる費用の増加によって崩

れたことが財政ひっ迫の主たる原因としている。

しかし、この感覚こそが財政ひっ迫を招いた原因といえる。それは、基幹産業の経営環境を左右する国内外の情勢、物価高騰も労働力不足も人件費高騰も何ひとつ肯定的な要素がないこの5年間の状況を、山積する課題を集中的に解決する局面であるとして積極的な財政出動を推し進めた町と議会の判断は誤りで、ともに猛省しなければならぬ。

所定の調査は、一旦終了したが、実行計画こそが財政健全化の鍵であることから、今回の報告を「中間報告」とし、これからも常任委員会や予算・決算審査等を通じて、行財政改革の進捗とその影響を丁寧に検証し、町民にとって納得感のある財政運営が行われるよう引き続き調査を進めることとした。

町の主役は「町民」である。行財政改革の主役も痛みを感じるのもまた町民である。一日も早く現状を町民に説明し、理解を得た中で改革が実行されるよう切に願う。



◆◆◆◆ 令和8年 第1回定例会賛否一覧 ◆◆◆◆

※これ以外の議案等は全員一致です。

議員名	深見 迪	櫻井 一隆	本多 耕平	鈴木 裕美	鴻池 智子	齊藤 昇一	黒沼 俊幸	長尾 式宮	松下 哲也	渡邊 定之	類瀬 光信	菊地 誠道	結果
議案等の内容													
陳情第1号 磯分内プールの存続を求める陳情	○	○	×	○	×	×	欠	×	×	○	○		不採択 (議長採決)
議案第6号 特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	×	×	欠	○		原案可決
議案第19号 令和8年度標茶町一般会計予算	×	×	○	×	○	退	×	○	○	欠	×		原案否決
議案第20号 令和8年度標茶町国民健康保険事業事業勘定特別会計予算	○	○	○	○	○	退	○	○	○	欠	○		原案可決
議案第21号 令和8年度標茶町介護保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	退	○	○	○	欠	○		原案可決
意見書第1号 高額療養費制度の負担上限額引き上げの撤回を求める意見書	○	○	○	○	○	×	○	×	×	欠	○		原案可決
意見書案第2号 非核三原則の堅持と法制化を求める意見書	○	○	○	○	○	×	○	×	×	欠	○		原案可決

○ 賛成 × 反対 退 退席 欠 欠席 (議長は、可否同数以外の採決には加わりません。)

意見書

次の2件の意見書案が提出され、いずれも賛成多数で可決されました。意見書は議長名で国、道の関係機関へ送られました。

◆意見書第1号
高額療養費制度の負担上限額引き上げの撤回を求める意見書

わが国の社会保障制度において、高額療養費制度は、重篤な疾患や長期療養を余儀なくされる患者が、安心して医療を受けられるための「命綱」でありセーフティネットの根幹をなすものです。今後、限度額の引き上げと、すべての所得区分で大幅な負担増が計画されています。誰もが必要な時に安心して医療を受けられる社会を維持するため、負担上限額引き上げの中止を求めるものです。

意見書案第2号
非核三原則の堅持と法制化を求める意見書

核兵器が使用されないためには憲法の平和理念とともに非核三原則を堅持し、我が国が核廃絶の主導者として核兵器のない世界の実現のために一層の取り組みを行うていくことが不可欠です。政府において非核三原則を国是として厳守するとともに法制化を求めるものです。



第一回定例会 議会日誌から

一月十四日	厚生文教委員会所管事務調査
一月二十一日	総務経済委員会所管事務調査
一月二十九日	議会運営委員会
一月二十九日	議会運営委員会
一月二十九日	第1回臨時会
一月二十九日	厚生文教委員会
一月二十九日	全員協議会
一月二十九日	標茶町財政健全化調査特別委員会
一月二十九日	厚生文教委員会所管事務調査
一月二十九日	総務経済委員会所管事務調査
一月二十九日	衛生処理組合議会第1回定例会
一月二十九日	釧路町村議会議長会2月定例会
一月二十九日	全員協議会
一月二十九日	標茶町財政健全化調査特別委員会
一月二十九日	消防事務組合議会第1回定例会
一月二十九日	標茶町財政健全化調査特別委員会
一月二十九日	議会運営委員会
一月二十九日	第1回定例会
一月二十九日	議会運営委員会
一月二十九日	議会運営委員会
一月二十九日	厚生文教委員会
一月二十九日	総務経済委員会
一月二十九日	議会運営委員会
一月二十九日	議会運営委員会
一月二十九日	広報委員会
一月二十九日	全員協議会
一月二十九日	議会運営委員会
一月二十九日	第2回臨時会
一月二十九日	広報委員会
一月二十九日	公立大学事務組合第1回定例会
一月二十九日	広報委員会
一月二十九日	広報委員会
一月二十九日	四月十四日



議会議事録・東日本大震災・3月11日2時46分黙とう

編集後記

令和8年度第1回定例会は3月6日から12日までの7日間の日程で開催されました。

衆議院選挙やイスラエル・アメリカによるイラン攻撃など国内外の情勢が日に日に変化している情勢下で、本町においても財政の厳しさが表面化しています。

議会は財政がひっ迫する中でも自律的かつ継続的な行政の運営を推進し、「地方分権時代」にふさわしい持続可能な行政運営による高いサービスの実現を目指さなければなりません。議会はその目的達成に資するため、過去に実施した事業や施策の効果・成果を検証し、今後、必要とされる経営型・減量型の財政健全化施策に反映させていきます。

今回、9名の議員から一般質問があり、質問の内容は紙面において紹介されていますが、多くの議員は標茶町行政改革推進計画に基づく施策の議論であり、これからの本町のあるべき姿を論じる議会でありました。

理事者及び議会側も今回の議論が町づくりの一助となることを望みます。

(文責 本多 耕平)